



## 聴き合いタイム



### 聴き合いタイムの考え方

対話しながら友だちの考えをきく(耳)

友だちの考えを取り入れる  
ポジティブに捉える(+)

# 聴心

友だちの考えを  
いつでも見ることが  
できる(目)

「ききたい!」という思いをもって友だちにきく(心)

### 聴き合いタイムの目的

- 児童同士が分かったことや考えたことを聴き合うことで、自分の考えを確かめることができ、自信をもつようになる。
- 課題解決への見通しを持ち、自分の間違いに気付いたり、自分なりに納得した考えを持ったりできるようにする。
- 自分で学習形態を選び、取り組むことができるような自己選択・自己調整力を身に付けさせる。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実  
誰一人取り残さない学びの保障

「わかった!」「やってみたい!」  
学びの主体性UP!

### ききたい

自分の考えに使えそうなヒントをきき出す。

お互いの考えや答えを比べながらどうしたらよいか一緒に考える。

### 聴き合いタイム

悩んでいる人にアドバイス・ヒントをあげる。

### 自信あり

### 自信なし もう少し

悩んでいる人にアドバイス・ヒントをあげる。

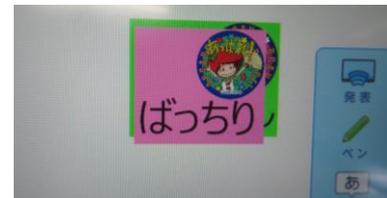
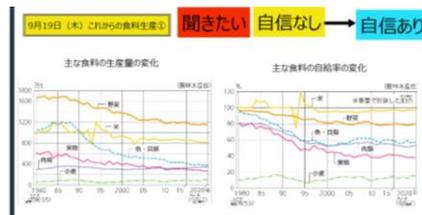
自信がないところを相談する。

本質を捉える授業を!  
させっぱなしにしない!

教師の役割とは・・・コーディネート!  
ヒントを出したり、個別指導したりする  
本質に外れないように軌道修正  
そのための「問い返し」→考えを引き出す・深める

### 意思表示カード

「聞きたい」「自信なし」「自信あり」の3つの意思表示カード使って、自分の考えをタブレット上に示すことで、聴き合いタイムを活発にする。  
「賛成」「反対」などのカードを作成して使用するなど、応用もできる。  
発表ノートに置いたカードは、聴き合いタイム中に更新していく。「聞きたい」→「自信あり」その際に、最初に置いたカードはそのままにして、更新した場合は重ねたり、矢印を使って示したりする。

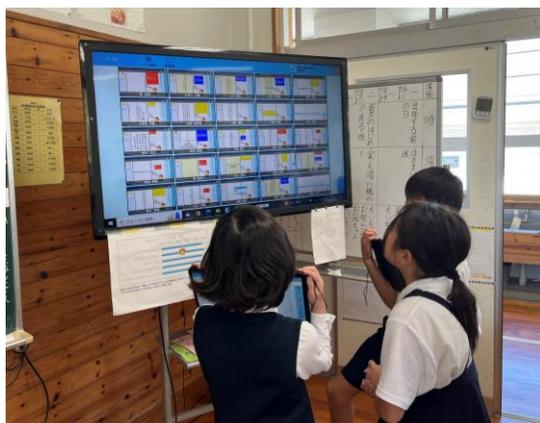
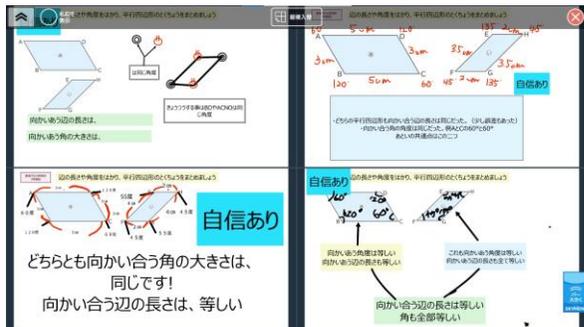




### ICTを活用した聴き合いタイムのやり方

## 友だちの考えを取り入れる「他者参照」

### ① スカイメニューの活用 「みんなの作品」「画面一覧」



### ② Teams内での「Excel」を活用

日付	内容	名前	文字数
2024/9/26	「たずねびと」初発の感想	[名前]	246
2024/10/2	友達初発の感想を読んでみて	[名前]	162
2024/10/4	出会ったものや登場人物について	[名前]	147

発表ノートに書いた自分の考えを「みんなの作品」を活用して公開することで、誰がどのような考えを書いているのかが見ることができる。個別に「〇〇さんの考えをくわしく見たい」となると、個人のタブレットに一覧が出る「みんなの作品」が必要になる。

子どもたちの発表ノートを教師側が「画面一覧」にして大型モニターに投影し、誰がどのような考え・意思表示をしているのかが見ることができる。各自の席から友だちのおおよその様子は確認できる。

Teams内にあるExcelデータを開き、全員で1枚のシートを活用する、あるいは1人1枚のシート(タブの活用)を用意して活用するという2パターンの活用方法がある。



### 聴き合いタイムの様子

